

ユニット名	SDGS(島根大学ジオパークサポーター)
代表者	沢田優菜
達成に資するSDGs目標	4 質の高い教育をみんなに 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
活動概要	出雲市多岐町の小田海岸で出雲市と連携し、ジオパークの普及・教育活動として小学生向けのイベントを開催する。イベントの具体的な内容は、小田海岸で化石採集の体験を行った後に、化石のレプリカ作りの体験を企画する。小田海岸は島根半島・宍道湖中海ジオパークのジオサイトに指定されており、貝化石が多く観察することができる。イベントを通して、実際に化石に触れて地学を身近に感じてもらうことに加えて、ジオパークの普及・教育活動に貢献することを目的とする。本イベントでは化石の採取・観察を企画しているが、環境保全のため、この地点では化石の採取が禁止されている。参加者が採取した化石を持ち帰ることができないため、観察した化石をもとに、おゆまるやエグザファイン等を用いてレプリカを作成する活動を取り入れる。これにより、形に残る成果物を通して地学を身近に感じてもらうことを目的とする。レプリカ作りに関しては、小田海岸近辺の出雲市が所有する一軒家を利用して実施する。7月ごろの開催を予定しており、本イベントが小学生の自由研究に活用してもらうことができ、夏休みの参加しやすい時期を予定する。
主な連携先 (予定を含む)	出雲市総合政策部政策企画課/自治振興課 松江市文化スポーツ部文化振興課
⑦の公表予定、社会への波及	活動の成果については、11月20日・21日に開催される第16回日本ジオパーク全国大会(鹿児島県桜島・錦江湾)で発表を行う。発表では、小田海岸のイベントの他にも、本ユニットが取り組むジオパークの支援活動全般について報告し、大学生が主体となって地域のジオパーク活動に参画する意義や実践内容を広く共有する。 特に、本活動が体験型学習を通じて地域の子どもたちに地学や自然科学への興味を喚起し、主体的な学びの機会を提供している点について整理し、SDGsゴール4(質の高い教育をみんなに)への貢献として発信する。また、小田海岸という海岸環境を題材とした活動を通して、海の自然環境を守りながら学ぶ姿勢を伝えることは、SDGsゴール14(海の豊かさを守ろう)への理解促進につながる。さらに、化石や地層といった陸域の自然資源の価値を伝えることにより、SDGsゴール15(陸の豊かさを守ろう)に関する意識啓発にも寄与する。本ユニットの活動は、大学生が主体となって地域や行政、ジオパーク関係機関と連携し、教育・普及活動を行う実践的な取り組みであり、学生自身の専門知識の深化や地域貢献、地域理解の向上にもつながることが期待される。将来的には、若者が継続的に地域のジオパーク活動に関わるモデルケースとなり、大学と地域との連携強化や、持続可能な地域社会の形成へと波及していくことを目指す。